

# インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）ドッキョウダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）オカベゼミ
獨協大学	経済学部	岡部ゼミ

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）インフィニティ	フリガナ）ナカムラアキラ	4	無
infinity	中村耀		

## 研究テーマ（発表タイトル）

こめたんじゅく — 地域が支える食育の場 —

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たちが生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むには食が何よりも重要である。しかし近年、栄養の偏り、不規則な食事、肥満、生活習慣病の増加、孤食など多くの問題が生じている。それらの問題を解決するために有効であるのが食育の推進である。そのために、私たちは食育を学べる塾、「こめたんじゅく」を提案する。この塾では、家庭で食育のできない小学生の食育の見直し・改善を目的とする。

### 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

食べ物が私たちの体を作り成長させ、活動の源となり病気に抵抗する力を生み出す。食べるという行為は生きるための基本であり、食育は全ての人に必要である。その中でも、食育基本法や研究などでは心身の発達が著しく、食への関心が深まる時期である小学生の食育が特に重要であると述べられている。しかし、子供には食の知識が十分になく家庭での食育の場が必要となるが、今日の日本では女性の社会進出に伴う共働き世帯数の増加などから家族が食卓を囲む回数は800回から300回に減少し、お箸を正しく持てない児童は60%にも上る。時代とともに社会環境は変化し家庭での食育が困難であると考えられる。

### 3. 研究テーマの課題

私たちが検討しているサービスを展開していく上での課題は、小学生が継続的にこのサービスに参加することだ。小学生に正しい食習慣やマナーなどを身に着けるためには、食育を継続的に行わなければならない。小学生にどのように食育を楽しく学んでもらい、継続的に参加してもらうかが解決しなければならない課題であると言える。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

こめたんじゅくは学ぶ・作る・食べる、の3点をコンセプトとしサービスを展開していく。学ぶことには食へ

の理解・意識向上また食文化の継承、作ることは協調性を高め調理技能の向上、共に食べることは礼儀が身に付き、コミュニケーション能力の向上などそれぞれ利点が挙げられる。そして課題解決のために、私たちはこの3点にゲーミフィケーションを用い小学生に食育を楽しみながら学んでもらいたいと思う。小学生には、特典や称号などゲーム性を取り入れ、モチベーション維持に繋がりたいと考える。

## 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

このサービスを創り上げていくうえで、共通したサービスを展開する、子ども村：中高生ホッとステーションに訪問し現地調査を行った。その際、参加者同士のコミュニケーションが全体的に少なく感じ、その問題点を解決できるように独自の3点のコンセプトを考えた。現場の意見として、食育は地域で行っていくべきで子供の食育環境を整える良い提案とご意見を頂いた。提案へのフィードバックを参考に提案の有効性を高めた。

また運営の実現性を図るために、草加市の農家を訪問した。サービスに賛同し、店頭に並べることのできない野菜を私たちに安価で提供して下さるとご意見を頂いた。そしてボランティアスタッフの募集を私たちで行い、草加市の大学生や地域の方に参加をお願いしたところ46人の方の参加を確約できた。食育の講師として、草加市食生活改善推進員協議会の会員の方を招くことの承諾を得た。

## 6. 結果や今後の取り組み

調査を行った結果として、保護者は食育への関心が高いが実践に時間的な問題などがあり、困難を感じている為、小学生の家庭外での食育には十分ニーズがあることがわかった。そこで、既存の食育サービスと異なる新たなコンセプトによるこめたんじゅくを展開し差別化を図った。

今後必要となることは、ボランティアスタッフの教育・ボランティアスタッフへの還元によって小学生に対してより質の高いサービスを提供し、更なる会員の増加だ。会員の増加により、食育問題の削減・食育の推進がより活発化することが予想できる。

## 7. 参考文献

「食育基本法と食育推進基本計画」内閣府

<http://www8.cao.go.jp/syokuiku/about/>

「専業主婦世帯と共働き世帯」独立行政法人労働政策研究・研修機構

<http://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/timeseries/html/g0212.html>

平成24年版「食育白書」内閣府

<http://www8.cao.go.jp/syokuiku/data/whitepaper/2012/book/index.html>

草加市役所ホームページ

<http://www.city.soka.saitama.jp/>

NPO法人 ふれあいネットひらかたネットワーク

<http://shokuiku-station.com/>

「こども食堂」全国に広がる 貧困や孤食に救いの手（2016）

<http://style.nikkei.com/article/DGXLZO95894480Y6A100C1CC1000>

増える「孤食」、子どもへの影響は? “忙しい親” “でも出来るたった一つの事

<http://ure.pia.co.jp/articles/-/40627?page=3>

子ども村：中高生ホッとステーション

<http://www.hotstation-arakawa.com/>

アフタースクール調理体験による子供の変化 日本調理学会 駒田聡子

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/ajscs/27/0/27\\_43/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/ajscs/27/0/27_43/_article/-char/ja/)

「孤食」という問題？

<http://www.gendainoriron.jp/vol.04/column/col02.php>

埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0704/syokuiku/syokukai.html>

そうか子育て・応援情報サイト

<http://www.soka-bokkurun.com/>

書籍出典：お箸をちゃんと持てる子は頭がよくなる・子持ち WAO！生活向上委員会・主婦と生活社出版・2001年10月1日

## インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。